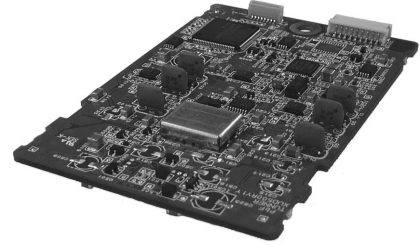


ワイヤレスチューナーユニット

品番 **WX-UD500**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

商品概要

- 本ユニットは、ワイヤレス受信機WX-UR502、WX-UR504（共に別売品）専用のワイヤレスチューナーユニットです。
- 上記のワイヤレス受信機に組み込んで使用することにより、ワイヤレス受信機におけるワイヤレスマイクの同時使用本数を増やすことができます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）…………… 1冊 保証書…………… 1式
線材…………… 1本 ねじ…………… 1本

施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-878-410** 受付：9時～17時30分
※携帯電話からもご利用になれます (土・日・祝祭日は受付のみ)

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

PGQX1190VA
NSH0412-5042
Printed in Japan

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

受信機に組み込むときに異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。
禁止

- 直ちに受信機の電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

組み込みは、受信機の電源プラグを抜いてからおこなう

感電の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。
分解禁止

- 修理や点検は、販売店に依頼してください。

2. 取扱上のお願

ユニットを袋から出さない

ユニットは静電気を防ぐ袋に入っています。取り付ける直前まで袋から出さないでください。

ユニット上の部品をさわらない

ユニットには、静電気に敏感な部品を使用しています。静電気による部品の破壊を防ぐため、ユニット上の部品に直接手を触れないでください。

ユニットにさわるときは

金属製のロッカーなどに手を触れて、人体の静電気を除去してください。また、必ずプリント基板の両端を持つようにしてください。

落としたり、強い衝撃を与えない

落としたり、強い衝撃を与えると破損することがあります。

異常が発生した場合は

取り付けた機器の電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

3. 仕様

供給電圧	DC5 V
消費電流	約120 mA (最大)
受信方式 (注1)	ダブルスーパーヘテロダイン
局部発振方式	水晶制御PLL周波数シンセサイザ方式
受信感度 (注1)	45 dB以上 (20 dB μ V入力、5 kHz FMにて)
スケルチ感度 (注1)	12 dB μ V以下
トーンスケルチ周波数	32.768 kHz
S/N	60 dB以上 (50 dB μ V入力、5 kHz FMにて)
残留雑音	30 μ V以下
ひずみ率	3 %以下 (50 dB μ V、40 kHz FMにて)
出力	-42 dB (5 kHz FMにて) (0 dB=1 Vrms)
制御方式	トーンスケルチ信号によるASK
制御信号	電池残量用：3種類
使用温度範囲	0 $^{\circ}$ C～+45 $^{\circ}$ C
寸法	幅63 mm 高さ11 mm 奥行き95 mm (接合部含まず)
質量	約30 g

(注1) 受信機WX-UR502、UR504（別売品）、アンテナWX-4950A、4965、4970（別売品）による。

お願い

次の使用条件下で、十分に注意して使用した場合は、7波使用も可能です。

- ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの間を50 cm以上離す。
- ワイヤレスマイクと受信機間および、ワイヤレスマイクとアンテナ間を5 m以上離す。
- 隣り合った部屋では、ワイヤレスマイクを使用しない。
- 受信機および分配器のフィールドスイッチのポジションは、「標準」または「狭い」で使用する。
- *B型ラムサとB型パナソニックは、トーン周波数が異なるため共用できません。
- *多チャンネル（8～15波）同時使用については、ワイヤレス受信機の取扱説明書をご参照ください。

受信周波数 (0.125 MHz間隔、30波)

周波数 (MHz)	グループ (下2桁目)・チャンネル (下1桁目)						
	1	2	3	4	5	6	7 ※
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

※7波使用例

4. チューナーユニットの組み込みかた

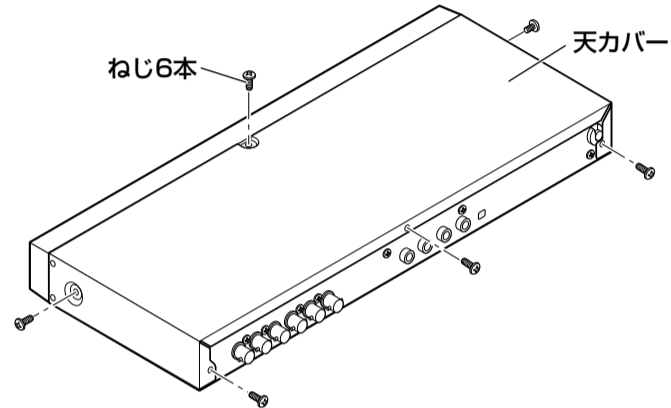
ワイレス受信機WX-UR502、WX-UR504（共に別売品）に本ユニットを増設するときは、下記の手順で行います。（説明にはWX-UR502のイラストを使用しています）

メモ

- 必ず受信機の電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
- 静電気は衣類や人体にも帯電していますので、作業を始める前に金属物（ラックなど）に触れるなどして、静電気を逃がしてください。
- チューナーユニットを袋から取り出すときは、電子部品に手を触れずにプリント基板の両端を持ってください。
- 受信機の取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- 増設するチューナーユニットの各種設定は、工場出荷状態（WX-UR502、WX-UR504の取扱説明書を参照）となっています。グループ・チャンネルの設定など、必要に応じて各種機能の設定をおこなってください。

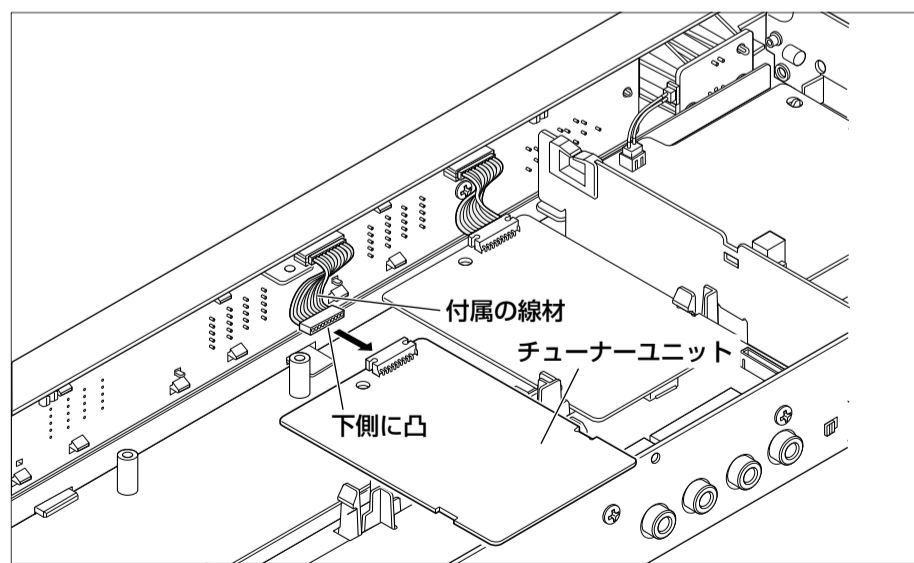
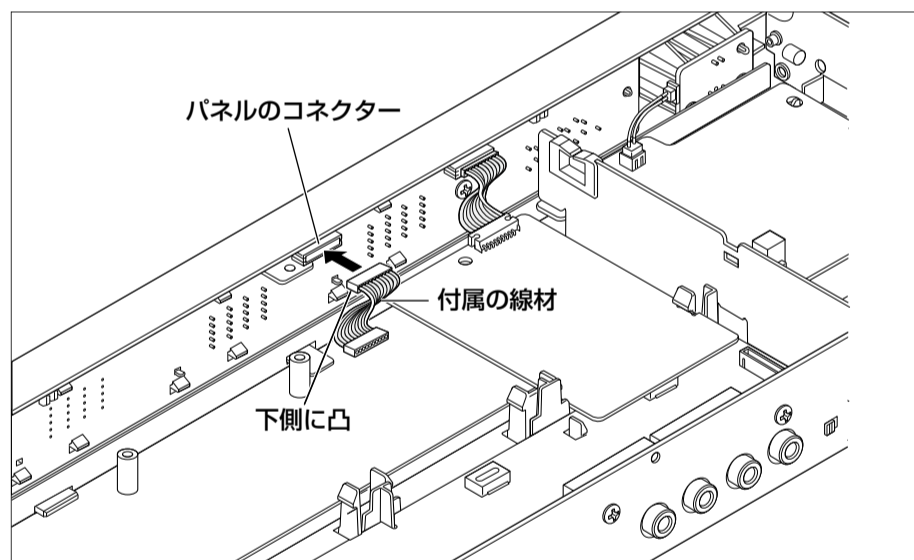
天カバーを外す

- 1 天カバーのねじ（6本）を外して、天カバーを外します。



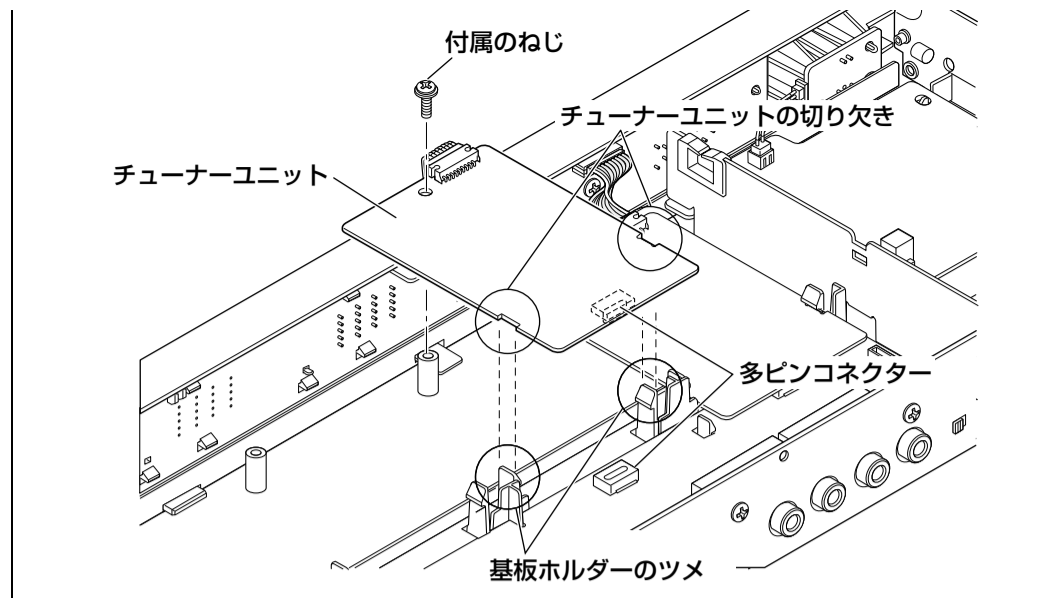
線材を接続する

- 1 本ユニットに付属の線材を、受信機の前面パネル裏側のコネクタと、本ユニットのコネクタに接続します。
※挿入するコネクタの方向に注意してください。



基板を装着する

- 1 本ユニットの切り欠きを受信機の基板ホルダーのツメに合わせながら、受信機の高ピンコネクタと、本ユニットの高ピンコネクタが接続されるように基板を水平にしまっすぐ押し込みます。
※ななめに押し込んだりしないよう、十分注意してください。コネクタが破損する可能性があります。

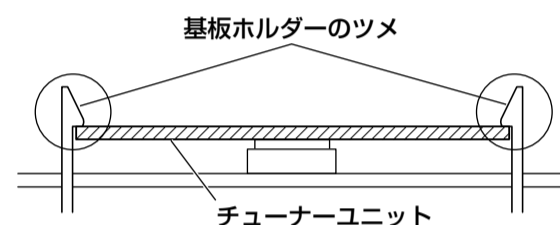


ねじで固定する

- 1 本ユニットに付属のねじで固定してください。
※ねじ締め付けトルク：0.78 N・m

装着を確認する

- 1 本ユニットがしっかりと受信機の基板ホルダーに固定されていることを確認します。



天カバーを元に戻す

- 1 天カバーを手順1で外したねじで元通りに取り付けます。
※ねじ締め付けトルク：0.78 N・m

5. 保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、受信機の電源スイッチを「切」にしてから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 製品名 ワイヤレスチューナーユニット
- 品番 WX-UD500
- 故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。